

映画を生きる

ビデオのプレイボタンを押すたびに
ハッピーエンドの決まった映画を
女優たちは何度でも美しく生きる

いのちのプレイボタンはすでに押され
エンディングのわからない映画を
私たちは一度だけ儚（はかな）く生きる

「一日が輝きますように」

エンドロールは明日かもしれない
それはまるで卒業みたいに
誰にでもやってくる

エンドロールで下から上へ
今までにであって来た
すべての人の名前が走る

この映画は素晴らしいキャストと
数え切れないスタッフと
思いがけない縁によって制作されています

「一日が輝きますように」

本願寺派仏教青年連盟会員 三浦明利さんの詩です。
「縁」ということ、「いのち」ということを
考えさせられます。

注) エンドロール：映画などにおいて終幕に流される、制作にかかわった人びとや団体などの一覧